

## 【自己紹介兼取組紹介3】

「資源循環のインフラで、捨てない社会をかなえる」

株式会社 ECOMMIT 取締役 CSO

坂野 晶 氏

# 資源循環のインフラで、捨てない社会をかなえる

2024.10.24

株式会社 ECOMMIT

# ECOMMIT

## 自己紹介

### ECOMMIT

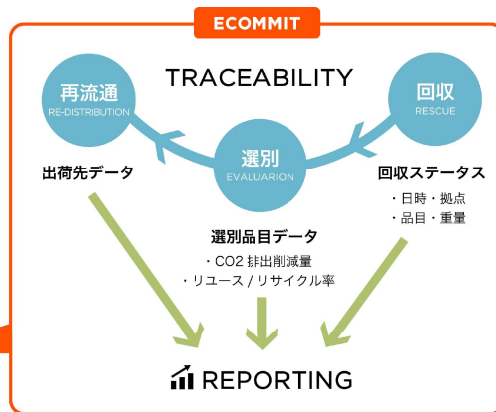
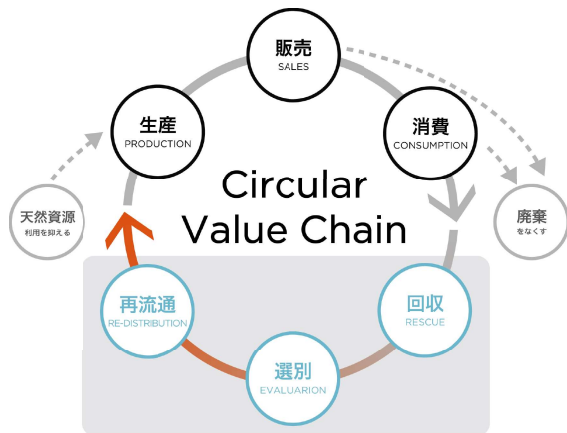


株式会社ECOMMIT 取締役CSO（Chief Sustainability Officer）・  
ESG推進室長 坂野 晶

日本初の「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った徳島県上勝町の廃棄物政策を担うNPO法人ゼロ・ウェイストアカデミー元・理事長。地域の廃棄物削減の推進と国内外におけるゼロ・ウェイスト普及に貢献。2019年世界経済フォーラム年次総会（通称ダボス会議）共同議長。2020年より一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパンにて循環型社会のモデル形成に取り組む。2021年、脱炭素に向けた社会変革を起こす人材育成プログラムGreen Innovator Academyを共同設立。2023年より株式会社ECOMMIT取締役Chief Sustainability Officerに就任。日経WOMEN OF THE YEAR 2022受賞。

World Economic Forum Future Council on Japan (2020)、World Economic Forum Global Shapers Community Foundations Board (2020-2021)、慶應義塾大学SFC研究所上席所員 (2023-)、入間市環境審議員 (2023-)、NHK国際放送番組審議員(2023-)、Innovation for Cool Earth Forum Steering Committee (2024-)、経済産業省サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ 地域循環モデルワーキンググループ委員(2024-)ほか

不要品の回収・選別・再流通を一気通貫で行うことで、あらゆるものが循環できる社会のインフラを構築しています。



全国対応型の”回収物流ネットワーク”、回収した物の経済的価値を最大限活かす”選別ノウハウ”を持ち、手間の掛かる工程を一括で担うことで、循環のサイクルをワンストップで実現

自社開発のトレーサビリティシステムにより、回収から再流通まで”モノの流れ”をデータ化し、リユース・リサイクル率の算出、CO2削減量をレポートニング

Copyright ECOMMIT 2023

会社概要

ECOMMIT

ECOMMIT

地球にコミットする循環商社

すべての必要と  
すべての不要をつなげる。  
捨てない社会をかなえる。



会社名	株式会社 ECOMMIT ( <a href="#">Webサイト</a> )
創立年月日	2007年8月17日 (2008年10月1日設立)
従業員数	135名 (2023年06月現在)
本社所在地	鹿児島県薩摩川内市
資本金	5億7,401万円 (資本準備金を含む)
年間取扱重量	12,000 t (古着約5,000 t) *2021年度実績
事業内容	循環型社会に向けたインフラ・システム開発及びリユース・リサイクル事業

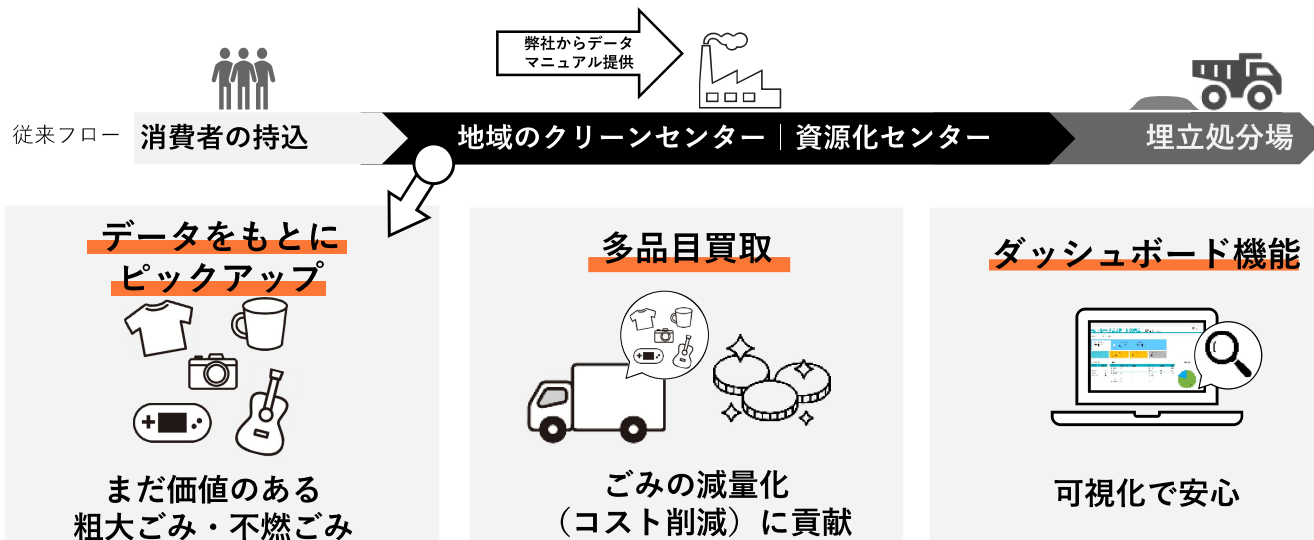
主要株主様



Copyright ECOMMIT 2023

## サービス概要 ①クリーンセンター回収 ECOMMIT

廃棄物処理施設に集まる廃棄物から  
リユース品を収集し、ごみを減らすサービスです。



## サービス詳細 ①クリーンセンター回収 ECOMMIT

既存のごみ処理フローの一環としてリユース品を収集、  
手間なくすぐに導入可能

POINT  
1

弊社リユース品目・基準をもとに

**簡単ピックアップ**



主に持ち込みの粗大・不燃ごみを対象に、持ち込み対応や手選別をご担当する作業員の皆様にリユース品をピックアップしていただきます。収集にあたり、リユース品として収集できる物の品目・基準は弊社からマニュアルを配布し、現場職員の皆さまにレクチャー。**既存のごみ処理フローを考慮した最適な収集方法をご提案します。**

POINT  
2

わずかなスペースで

**すぐに導入可能**



リユース品は弊社が回収にお伺いするまで、施設内\*での一時保管をお願いいたします。なお、保管の際に使用いただくカゴ台車や折りたたみコンテナは、弊社にてご準備いたします。  
\*8坪程度の広さ、カゴ台車3-12台保管可能なスペース



粗大ごみではなく、  
「リユース品」として回収する

「もったいない」という気持ちを  
行動にうつすことができる選択肢をつくる

ECOMMITは、清掃センターやリサイクルプラザといった施設に集まる廃棄物の中から、まだ使える物、もったいない物（リユース品）を回収し、ごみの減量化を図るサービスを提供しています。

その中で、作業現場の皆様から「清掃センターに来る前にごみを減量できれば良いが・・・」といった声をいただく機会が多くなりました。

ごみではなく「リユース品」として回収する機会を提供できれば、廃棄物施設に行く前の減量化策になると考え、いくつかの自治体の皆様と実証実験を行い検証を進めたところ、その有効性が明らかになってきました。

## 兵庫県 西宮市

廃棄物処理施設からのリユース品レスキューと、リユース品回収イベントの実施を想定した連携協定。

- 連携内容：資源循環等の推進（MINING、イベント）
- 対象品目：食器、家具、おもちゃ、家電、雑貨等
- イベントでの回収実績は市のウェブサイトで公開。処理施設からのリユース品レスキューは定期回収を実施。

- 西宮市 連携協定リリース  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000067508.html>
- 西宮市 イベント回収報告  
<https://www.nishi.or.jp/kurashi/gomi/shigen/recycle/ekommit.html>

令和5年3月4日（土曜）リユース品の無料引き取りイベントを山口支所で開催しました



参考： <https://www.nihi.or.jp/kurashi/gomi/shigen/recycle/ekommit.html>

## サービス詳細 ② イベント詳細

ECOMMIT

鹿児島県大崎町様の事例（人口：1万2千人）

### 自治体の遊休施設を活用し 地域住民からリユース品を回収

全体の回収量のうち、リユース可能なものの量は約**1,600kg**、リユース品の回収率は約**80%**の結果となりました。  
広報は町民への折込チラシ、町内無線放送、町のSNSなどを活用し、当日は約**60**件の持ち込みがありました。

■名称	リユース品試験回収
■実施内容	自治体主導でのリユース品の無料引き取りイベント
■実施日時	2022年1月22日（土）8:30～12:00
■実施場所	旧大丸保育園
■回収品目	食器・キッチン用品/工具/おもちゃ/家具・家電/雑貨
■検証内容	①リユース品の回収日と回収場所を設定した場合に集まる物の量、品目 ②リユースによるごみ減量効果
■実施主体	大崎町 ※協力：(株)ecommit (有) そおりサイクルセンター



ドライブスルー形式での回収を実施。



住民に確認の上、荷下ろしを補助。



リユース品は屋内で一時保管し、後日、エコミットが回収。



当日は戸別回収を行う業者様も参加、廃棄品の運搬・処理を担当いただく。

## サービス概要 ③ PASSTO

ECOMMIT

### PASSTOボックス設置事例



ポスターイメージ



渋谷郵便局



三菱地所様：大丸有エリア  
(商業施設・シェアオフィス・ラウンジなどに展開)

ECOMMITでは資源回収の見える化するシステムも独自に開発しており、お客様と共に資源循環の仕組みを創造しつづけます。

地域資源回収ステーション設置

衣類/雑貨等の回収サービス

資源回収の見える化



古着：XXXX kg (●月～●月)  
 雑貨：XXX kg (●月～●月)  
 CO2排出削減量：XXXX kg

愛知県 蒲郡市

リユース活動の包括連携。廃棄物処理施設からのリユース品レスキュー、市内の民間施設を中心に衣類回収用のPASSTOを設置し、環境省事業として実証、リユース啓発イベントの開催など多岐にわたる事業連携。

- 連携内容：リユース活動の促進（MINING、PASSTO、イベント）
- PASSTO設置場所：市内民間施設を中心に10ヶ所以上
- PASSTO対象品目：衣類
- その他：クリーンセンターでのリユース品レスキュー、衣類リユースの啓発イベントなど

- 蒲郡市 協定式リリース <https://www.city.gamagori.lg.jp/site/circularcity/partnership-ecommit.html>
- ECOMMIT 協定式リリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000062.000067508.html>
- ECOMMIT PASSTO設置開始リリース <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000077.000067508.html>



## 自治体との協業実績

## ECOMMIT

鹿児島県 大崎町、屋久島町、京都府 亀岡市、埼玉県 さいたま市、佐賀県 佐賀市、兵庫県 西宮市を含む、全国各地の40を超える市町や広域処理組合と連携し、クリーンセンター等での回収実証実験を実施・予定しており、各地でのごみの減量化を実現しています。

40+



## PASSTOユーザー調査結果公開中

## ECOMMIT

PASSTO  
by ECOMMIT

サステナビリティ消費の動向調査

**61%**  
衣類回収ボックスを「環境に貢献できること」を理由に利用

**43%**  
が衣類回収ボックス利用のために店舗へ来館

A graphic showing survey results for PASSTO users. It features a stack of colorful clothes in the background. The text highlights that 61% of users use clothing recycling boxes for environmental reasons, and 43% visit the store specifically for this purpose.

調査結果のレポートを公開しています。  
リンク先よりご覧ください。



# THANK YOU

## ECOMMIT

地球にコミットする循環商社

Contact : 営業開発部 | Mail : [lg-sales@ecommit.jp](mailto:lg-sales@ecommit.jp)